

平成24年4月27日発行

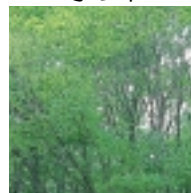
第157号

こうふ町 議会だより

町勢

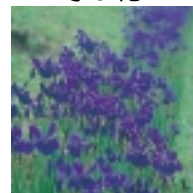
世帯数/1,128世帯
人口/3,404人
(平成24年4月1日現在)

町の木



ぶな

町の花



あやめ

平成24年度予算……………2P~4P

予算の審議……………6P~7P

いっぱん質問 町政を問う…12P~13P

私のひと言……………14P

祝 国道482号下蚊屋バイパス開通



まちづくりを

一般会計

30億1000万円

対前年93.74%

平成24年3月定例会は、3月6日から19日までの14日間の日程で開催された。

本年度の一般会計及び特別会計予算・条例の制定・改正等49議案が上程され、慎重審議の結果、原案通り可決された。

一般質問は、2名の議員が質問し、産業振興・観光行政振興・そして任期満了の町長の所信について活発な議論が交わされた。

本年度予算は、7月任期満了の改選の年で骨格予算が常道と云われるが、行財政改革の中、また限られた予算で年間予算が上程された。

平成22年度から公債費は年々減少しているが、財政の健全化を図りながら、投資的事業は、下水道など生活インフラ整備等に重点を置き、住民サービスの向上に努めている。江府中学校の建替については、調査費を計上した。

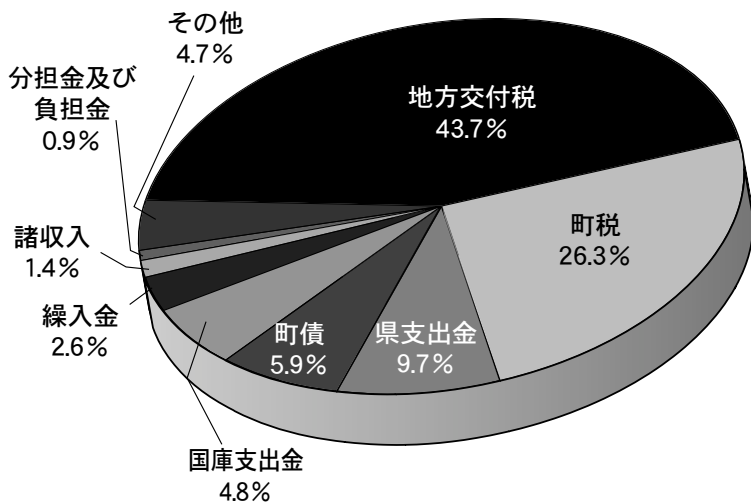
本年度中に実施計画も考えられる。

また、議会に於いても厳しい財政状況をふまえ、議員報酬を更に削減し、「子育て支援」に充てて頂くよう議決した。

特別会計では、杉谷地区の集落排水事業が計画され、生活環境整備を進めるよう予算編成された。

町民一人当たり 137万8千円
一世帯当たり 417万8千円です。

歳入



安心安全な

主な歳入は

○ 地方交付税

○ 町民税

○ 固定資産税

○ 国庫支出金

○ 県支出金

主な歳出は

○ 公債費償還金

○ 町道洲河崎下安井線改良

○ 県道維持連携共同事業

○ 女性消防団配置事業 (10名)

○ 緊急雇用対策事業 (15名)

○ 中学校校舎建設事業 (調査費)

○ 防災計画策定事業

13億1500万円

9010万円

6億7989万円

1億4436万円

2億9142万円

6億4711万円

6016万円

5098万円

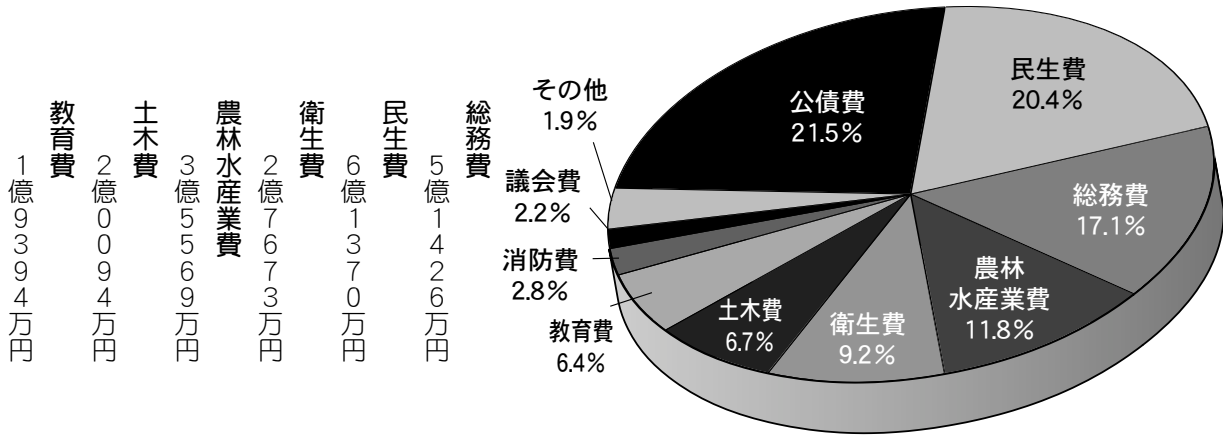
150万円

1408万円

114万円

966万円

歳出



特別会計 (15会計)

総額 17億2353万円

(前年比 6694万円減額)

国民健康保険 (事業勘定)

本町の国民健康保険は依然として県下でも医療費が高額の状況にあり、鳥大医学部等と連携し、医療費の適正化を図って頂きたい。運営について、国民健康保険運営協議会において議論を深め、提言されたい。

国民健康保険 (施設勘定)

江尾診療所では、通常診療のほか、特色ある糖尿病外来及び高血圧・心臓病外来をはじめ「もの忘れ外来」など専門外来を設置して、保険、医療、福祉の連携を図り住民サービスに努められたい。

介護健康保険 (保険事業)

昨年末で介護認定者は、270人と65才以上の20%を占め、増加傾向にあります。鳥取県下で最も安く、月額基準介護保険料4,725円と提案され、今後も地域包括支援センターと連携して、充実に努められたい。

簡易水道事業

昨年台風12号により被災した大河原地区簡易水道施設の本復旧に努められたい。今後とも安心・安全な水を提供し、経費節減に努められたい。

農業集落排水事業

平成23年4月現在、整備率は世帯数93・8%、人口で93・6%になっています。美用地区は、24年度から供用開始します。杉谷地区においては、24年度から処理施設と一部工事が行われる。未接続世帯の加入促進と、維持管理に万全を期することともに、管理経費の削減に努められたい。

議会改革調査特別委員会

平成24年3月7日

議員報酬について議論を重ね、平成24年4月から7.5%削減を決めた。

また、削減した報酬については、少子化対策に充てられたい。

議会報告会

第3回報告会は、4月20日(金)、江府町防災・情報センターで町内のJA女性会の皆さんと話し合いを実施した。

請願に関する調査特別委員会

平成24年3月15日

江府町行・財政を考える会から提出された「町長と町議会議員の同日選挙実施」について、当委員会では調査した。

調査結果

○継続調査とする

理由

○他町村の動向を調査し、十分検討する必要があるため継続調査とする。

陳情の審査結果

みなさんから提出のあった陳情を審査した結果、次のとおり決定しました。

件名	提出者	審議結果
「こころの健康を守り推進する基本法」の法制化を求める意見書提出に関する陳情書	鳥取市江津318-1 鳥取県精神障害者家族会連合会 会長 濱崎 智熙	趣旨採択
公的年金の引き下げに反対する意見書提出を求める陳情	米子市彦名町266-1 全日本年金者組合鳥取県 西部支部 支部長 松本 正孝	採 択
国民医療と国立病院の充実強化に関する陳情書	鳥取市三津876 全日本国立医療労働組合 鳥取医療センター支部 支部長 杉谷 達恵	採 択
住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情書	鳥取市西品治806 鳥取県国家公務員労働組合 共闘会議 議長 下田 陽司	不採択
障害者総合福祉法の制定を求める陳情	鳥取市扇町21 鳥取県ろうあ団体連合会 会長 荻原 耕三 他2名	趣旨採択
江府町長と江府町議会議員の同日選挙の実現	日野郡江府町武庫420-5 江府町行・財政を考える会 代表代行 大塚 忠行	継続審査

**あなたも議会を
傍聴してみませんか**
詳しくは議会事務局へ
電話番号75-3307

議員提出議案
江府町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

例
財政健全化はもとより行政コストの抑制に協力。「子育て支援」に充てられたい。

議会活動報告


12月

- 12日～16日 平成23年第9回江府町議会定例会
- 14日 議会改革調査特別委員会
- 16日 議会広報調査特別委員会
- 26日 西部町村議会議長会
- 6日 消防出初め式
- 6日 議会広報調査特別委員会
- 8日 江府町成人式
- 12日 議会広報調査特別委員会
- 17日 議会広報調査特別委員会
- 18日 第1回江府町臨時議会
- 20日 議会広報調査特別委員会
- 25日 教育民生常任委員会

1月

- 1日 西部町村議会議長会定期総会
- 6日 市町村トップセミナー
- 8日 三町衛生施設組合総務常任委員会
- 10日 西部地区同和問題研修会
- 14日 三町衛生施設組合議会定例会
- 16日 鳥取県後期高齢者医療広域連合議会
- 21日 鳥取県町村議会議長会定期総会及び表彰式
- 22日 女性議員研修集会
- 24日 西部広域行政管理組合議会
- 27日 議会運営委員会
- 29日 日野病院組合議会定例会

27日 西部広域行政管理組合議会
参観
会江府中学校授業



審議

一般会計

総務課

Q 安心・安全のまちづくりは。

A ハザードマップの作成。女性消防団(第3分団)の組織、地域防災の強化、総合防災訓練等行います。

Q 公共用地の敷地借上料について。

A 年間大きな金額になっていきます。検討する必要があります。

Q 日輪閣は本当に必要か。

A 利用もしているが検討する必要があると思います。

Q 地籍調査はどのようなっているか。

A 集落に再度アンケートを実施する考えです。

Q 人件費はどうか。

A 町長18%、副町長10%、教育長10%、議員7.5%をカットします。この数字は県下でも削減率は高いと思います。

企画政策課

Q 町税の見通しは。

A 7億9000万円を見込んでいます。

その内、固定資産税は6億7900万円。中電関連のピーク時と比較すれば、大幅な減収です。昨年比較では98%になります。

Q 地方交付税は。

A 13億1500万円。昨年比較で94%になります。

Q 今年の予算は。

A 30億1000万円になり、前年比93%です。

Q 厳しい財政の中どう進むのか。

A 節約と工夫により、職員一丸となって無駄のない行政運営を心がけたい。

Q 情報機器は。

A 情報機器をすべて更新していきます。

町を内外にアピールするためホームページに力を入れ、本町のすばらしさを発信して行きたい。

Q 今後のここに事業の内容は。

A 昨年の成果と反省をひまへ、新事業も加えて有意義な内容となるように実施します。



予算の

Q 携帯電話の不感地域解消は。

A 国内3社中、2社は町内全域で受信可能、残り1社も改善を行う予定です。

町民生活課

Q 交通安全対策は。

A 免許証の返納が4名あり、飲酒運転違反率も県下で高く、モラルが問われています。啓発活動を続けて汚名返上に努めたい。

Q 町営バス運行の状況は。

A 売上1200万円、利用数は7万人です。美女石、栗尾地区の交通便利性を検討したいと思っています。

福祉保健課

Q 老人クラブの状況は。

A 現在20集落で活動があります。

Q 総合健康福祉センターの駐車場が狭いが。

A 駐車場の拡張を検討します。

Q 不妊治療について。

A 町独自の政策として治療費を助成いたします。少子化対策と連動していく考えです。

奥大山スキー場管理課

Q スキー場の現状は。

A スキー客が減少しています。客の流れが変わり、一層心をひきしめ、安心・安全のスキー場として復活させたい。

農業委員会

Q 農業委員会の定数は。

A 定数の削減に向け、検討する必要があると思います。

農林課

Q 来年度の植樹祭に向けての取り組みは。

A めぐみの森の名称で行われ、本格的な準備に入る予定です。

Q 耕作放棄地をどうするか。

A 各町村とも大きな問題であり、真剣に検討したいと思っています。

Q 地元ブランドの開発について。

A こんにゃく芋、大山スイカの栽培を実施。特産品化できるよう努力したいと思います。

産業振興課

Q 木谷沢が大きな被害をうけているがどうするか。

A 魅力的な観光スポットでもあるので復興をめざします。

Q 観光の町として看板の総点検を。一度総点検について検討します。

A 本年度の除雪対策は。

建設課

Q 本年度の除雪対策は。

A 昨年から大雪が続いているのでかなりの金額が想定されます。最終報告はこれからです。

Q 町道洲河崎下安井線改良工事の進捗状況は。

A オオサンショウウオの生息が確認され、工期が一年間延期になりました。

Q 三町のし尿処理場の状況は。

A し尿処理場清化園は、老朽化のため施設改良の必要があります。計画等については、三町で検討中です。

教育委員会

Q 図書館の現状は。

A 今年度予算はアップになったが、運営協議会で検討していきたい。

Q 中学校建設予定は。

A 教育環境整備は重要な問題であり、本年度、調査費を計上し、実施計画も予定しています。



江府中学校

特別会計

住宅新築資金の滞納額は

Q 住宅新築資金の滞納額は現在どれ位あり、またその対応は。

A 現在、約930万円となっており、接滞納者のところへ出かけるなど徴収に努めています。

国民健康保険は

Q 国民健康保険の滞納者は何人位あり保険証の扱いは。

A 現在11名であり、その方には短期保険証を発行し、1か月毎に納税をしてもらっています。

Q 今年度行う予定のしセプトの事業費はいくらか。

A しセプト事業費は、委託料として約240万円です。その他特定健診の委託料が約260万円あります。

診療所の状況は

Q 診療報酬が前年より約2,400万円減少しているが、その原因は何か。

A 前年が当初多く見積もっていた為であり、実際の診療報酬は前年並みの実績と予想しています。

Q 昨年に比べ医業費が約1千万円減少しているがその要因は。

A 昨年度は、医療機器の整備があつたため多くなつていますが、今年度は大きな整備投資はなく減少したものです。

介護保険料は

Q 介護保険料が改訂されたが県下の状況はどうなっているか。

A 介護保険料は4725円となり県の平均5420円と比較し県下で最も安い保険料となります。

老健施設あやめは

Q 今年度の起債償還が約4500万円となっているが何年に終わるのか。

A 毎年均等払いとなっており平成47年まで続きます。

索道事業は

Q 今シーズンのスキー場の状況は。

A 雪崩事故により心配されたが、雪に恵まれ一般会計からの繰り入れは少なくなりました。

Q 水道管が破損したが、その対応は。

A 給水車に対応した。

下水道の状況は

Q 江府町の下水道普及状況はどの位か。

A 3月現在で人口当たりの整備率は約84%となっています。杉谷地区の終末処理場と一部管路工事を行います。

Q 川筋地区の下水道と江尾地区の下水道を接続するという案はどうなっているのか。

A 今年度に川筋地区の下水道の見直しを行うので、その際に将来のコスト等勘案し協議していきたい。



美用地区集落排水事業

一般会計

予算特別委員会 参考意見

平成24年度江府町一般会計予算は、公債費が昨年より約1億500万円減の6億4700万円となり、ピーク時に比較して徐々に改善されていることが分かります。

しかし、予算執行に当たっては依然として財政状況は厳しく、起債の繰上げ償還を実施する等、全体的なバランスを考慮した適切な財政運営と更なる経費の削減も必要と考えられます。

今年度の主な事業としては、防災計画策定事業としてハザードマップの作成、平成25年度江府中学校建設予定のための協議、検討、調査事業、不妊治療費の助成事業、認知症地域支援員配置事業、ここに事業など予定されています。

国の財政対策も不透明なこともあり、引き続き厳しい財政状況に変わりはないものの、動向を十分に把握し、各事業の実施に一層の努力をお願いします。

総務課

(1) 特別職の給与は減額され、県下でも一番低い給与である。厳しい財政状況を乗り切るための努力に敬意を表します。

(2) 公共用地敷地借上料が年間かなりの額であり、地権者を見直し、検討を考慮されたい。

(3) 日輪閣の今後の管理について検討が望ましい。

(4) 地籍調査については、再度アンケートにより各集落の希望を調査し



通学バス

実施されたい。

企画政策課

(1) 各課のここに事業について、前年度の成果と反省を踏まえ、今年度有意義な内容になるよう検討されたい。

(2) 携帯電話の地域差をなくし、受信環境の品質改善に努力されたい。

町民生活課

(1) 平成21年3月より運転開始の町営バスは町民の利用も増えている

が、栗尾、美女石地区にも交通の利便性を検討されたい。

福祉保健課

(1) 社会福祉協議会の運営と今後のあり方について協議、検討されたい。

(2) 総合健康福祉センターの駐車場が狭いので何とか良い方法を検討されたい。

(3) 不妊治療にかかる費用は大変高額であり、また病院も限定されるため、不妊治療費助成事業は、町独自の政策として治療費の一部を助成するものであり、少子化対策に少しでも歯止めがかかれば願うものです。

農業委員会

(1) 定数について協議を重ねながら3年の任期中に結論を出したい意向である。

農林課

(1) 平成25年開催の植樹祭について、本年度開

催員に視察に行き、実態を把握することも必要である。

(2) こんにやく芋、大山すいかの栽培が行われていますが、江府町の特産品になるよう努力されたい。

産業振興課

(1) 市民農園は指定管理が平成20年から平成25年までの契約で、その後の使用方法については1年かけて運営審議会で検討されたい。

(2) 昨年の台風により被害を受けた木谷沢渓流の復旧を早急にされたい。

奥大山スキー場管理課

(1) 例年並みの収入が見込める予定であるが、来年に向け、より効率的な予算化を考慮されたい。

建設課

(1) し尿処理場「清化園」は老朽化のため施設改良の必要があり、計画については慎重に検討

されたい。

(2) 町道洲河崎下安井線改良工事は、オオサンショウウオの生息が確認され、工期が一年間延期された。

保護等協議され、早期完成に努力されたい。
(3) 新年度より、日野郡三町で県道維持連携共同事業が始まります。慎重に協議され、人材

的にも無理のないよう対応されたい。

教育委員会

(1) 子供の国保育園では、昨年からA・L・T（外国語指導助手）の協力により、英語に触れ合う時間を設けています。年齢を問わず園児の関心度も高いようですが、他町村の実態、また小



江府中学校候補地



こんにやく作り講習会

学校就学後の影響等、十分検討されたい。

(2) 平成25年度建設予定の中学校については、概ね場所は決定であり、将来を十分考慮し、より良い学校建築になるよう願います。

(3) 新しく社会団体として江府町青年団が誕生

若い力に期待し応援したいものです。

(4) 図書館運営協議会で、図書館のあり方を検討されたい。

(5) 給食費は給食会により集金されるが、教育委員会で集金されるよう他町の動向も見ながら、検討されたい。



特別会計

国民健康保健 (事業勘定)

本年度において、医療費分析が行われるが、その分析結果を生かし医療費の抑制に努められたい。

国民健康保健 (施設勘定)

歯科、医科とも患者数が横ばいとなり、診療報酬については約2千万円減額と厳しく予想している。本年度で建物本体の償還が終わり、来年度からは約1千8百万円の歳出減となる。

今後も武地医師の下、住民の健康を守るために努力をお願いしたい。

介護保険事業 (保険事業勘定)

第5期（平成24年～平成26年）となる介護保険基準月額額は、4,725円となり前年より75円の微増となった。県の平均は5,420円であり、江府町の金額は県下で

番低額である。

当町の介護認定者は約20%となっており高率であるが、施設入所ではなく在宅で介護を受けることがその原因の一つとされている。

今後、診療所を中心にした在宅医療や、ホームヘルパーによる在宅介護の充実に努められたい。

簡易水道事業

現在の15施設の維持管理を万全にすると共に、西成地区の水道を町営に移管するよう努力されたい。

索道事業

昨シーズンは、不幸な雪崩事故により長期休業を余儀なくされた。その後、雪崩対策、台



診療所（歯科）



川筋地区処理場

農業集落排水事業

平成24年度において杉谷地区の事業行われ、集落排水事業は完了となります。

また本年は、川筋地区の集落排水について見直しがあり、その際江尾地区の公共下水との接続について同時に検討されたい。

風12号による災害復旧と対応を行い、今シーズンは、例年並みの収入が見込める予想である。
今シーズン発生した水道の断水対策を行うと共に、トイレについて水洗化できないトイレについては、閉鎖等検討されたい。

一般質問 町政ここを問う

一般質問は2人の議員が行い、町長の方針をたじた



上原 二郎

有機・特裁農業の取組みと今後の施策は

問	有機・特裁の取組みは
答	特別栽培に重点を置く

質問

江府町の基幹産業である農業は、過疎高齢化と米価下落等により将来が危惧されています。今こそ行政が本腰を入れ江府町の特色を生かした有機農業などに取組むべきと考えます。有機農業は農業の自然循環機能を増進し消費者の食料に対する安心安全にも合致し、今まさに環境保全や食育の観点からも推進が必要とされる時代です。有機農業について町の見解と今後の施策について伺います。又市町村や農業団体等には有機・特裁におけ

る生産、流通、販売及び消費動向等に関する施策、情報を共有し地域の有機・特裁生産者の動きを把握することも推進への取り組みを支援しなければならぬと考えています。技術的支援及び経済的支援体制、又農産物の流通、販売面への支援体制はどのようになっているか伺う。

町長答弁

本町における有機農業・特別栽培の現状でございますが有機農業につきましては認定を受けられた方はございません。有機農業を進めるにあたって重要となるのは販路の確保だと考えています。商品として出荷するためには安定供給、品質の均

一化が必須要件です。栽培方法にこだわるとあまり「収穫量も品質もそのとからない」ということで安定的な経営は困難であり、取り組みの拡大や継続は不可能です。特に有機農業については栽培面でのリスクが大きいため現状では特別栽培に重点を置いた推進を行っています。有機農業につきましては生産者の主体的な取組みを後押しさせていただきます。農家に対する支援体制、並びに技術的、経済的支援でございますが、栽培技術面では鳥取県日野農業改良普及所並びに鳥取西部農協営農センターと連携して行っております。経済的支援に

つきましては、現状では補助事業等の取組みは行っておりませんが、町堆肥センターを整備し有機農業の基本となる土作りに重点を置いた農業を支援しております。又農産物の流通、販売面での支援であります。主な販売先とし、大規模な取組みとしては農協への出荷があります。又本町が認定を受けています環境王国

の取組みとして、「環境王国市場」という通信販売のコーナーを設けております。そのコーナーで味噌、トマト加工品の販売がスタートしております。今後は、環境王国の取組みを発展させ流通販売事業者との連携のもと「環境」をキーワードとした農業振興の取組みを進めてまいりたいと思っております。



ブルーベリー園



奥大山スキー場



川上 富夫

問

スキー場の安全と今後の取り組みは

答

安心・安全な健全運営を

質問 雪崩事故から一年が過ぎ、新しく災害対策と江府町の観光の拠点として「スキー場管理課」を設置し雪崩防止柵等安全対策も完了し、シーズ

ンインし、雪に恵まれ多くのスキーヤー・ボーダーが訪れています。昨年までのようには行きませんが、安全対策とお客様へのPRも必要に思っています。奥大山は観光の拠点であり、スキー場管理課の役割は大きいと思います。今後の取り組みについて、町長の所見を伺う。

町長答弁

あの悲惨事から一年三ヶ月が経過しました。安全対策として、雪崩防護柵・警戒気象観測カメラの設置、「スキー場管理課」を設置し体制を整えてシーズンインしました。パトロールによる安全体制は更なる充実に努めています。様々なキャンペーンを打ってききました。年間を通して奥大山に訪れていただけるよう努めます。

問

町長の任期満了を迎えて

答

けじめをとりさせていただきます

質問 竹内町長2期8年を7月で任期満了を迎えますが、特に行財政改革に於いては、報酬の削減など切り詰めて、実質公債費率20%以下にめどが立ってききました。

誘致企業、サントリーをはじめ、サンエスについては工場建設に着手して地元採用に期待しています。少子高齢化で、小



町長答弁

学校の統合・町営バス運行など改革がされています。下水道整備についても杉谷集落の工事が本年度から始まるつもりです。又、老朽化した中学校の建て替え計画についても検討していかなければいけません。行財政改革も未だ中途です。2期8年を終える竹内町長の課題は山積しています。任期満了に当たり、町長の所信を伺う。

町長答弁

2期8年任期満了を迎えますが、平成16年に単独町政の道を歩む重責を担わせて頂き、厳しい財

政状況の中、財政健全化を大きな柱とし、高齢化の進む住民の為、老健施設を建設させて頂きました。企業誘致には大変厳しい状況でしたが、県をはじめ皆さんのご理解を頂いて、誘致も出来、奥大山ブランドの発信等に対応できたと思っています。小学校統合、通学問題にも皆さんのご理解を頂いて進める事が出来ました。しかし、一昨年末の雪崩事故は、当時の豪雪の中での自然災害に於いて、尊い4名の命を失った事は、町の施設管理責任者として、けじめをとらせていただきます。

ひとこと



新見 修 (98才)

「故郷を思う」

私は八年前に病気のため故郷を離れて暮らしています。人生の最盛期に三十年間地方議員を勤めさせていただき、明日が判らぬ老骨になっても政治への関心は消えません。

日本はいま少子高齢化の進む中で巨額の財政赤字を重ね、失業や貧困対策、年金・医療・介護制度の行詰まり打開、更に大震災の復旧や原発被害者の救済困難な課題を如何に解決するか。



特に問題なのは政府が環太平洋経済連携協定（TPP）に参加を進めていることです。之は総ての関税を撤廃するもので、加盟すれば日本の農業は壊滅すると危惧され、何としても阻止せねばなりません。江府町議会におかれても反対意見を決議し、野田総理に送り付けて欲しいと思います。町の農業を守る為にも必要と考えます。

故郷江府町の発展を心から祈っております。

ふる里へのおもい



洲河崎 加藤小夜子

生まれ故郷を離れて大阪に出てから五十年近い月日が過ぎていました。

その間、故郷を忘れたことはありません。両親が一生懸命私達四人の兄弟を育ててくれたこと、生活の周りにあった土と緑の匂い、谷川を流れる水音、遠く離れて憶えば思う程懐かしい風景でした。

何時か仕事を終えて、最後の生活の場を決めるとしたら、あの故郷に近い風景のある所で過ごしたい。それは五十歳を過ぎる頃から自分の中でだんだん強い思いになりました。「どうせ田舎暮らしをするのなら身内の居る所が良いと思うよ」と兄、母も「帰って来てく

れたら嬉しい」と言ってくれて、故郷に帰ることを決心しました。その二人も私の帰る前後に他界しましたが、縁有って洲河崎で生活することになりました。でも、も久しぶりの故郷の四季は、思い出の中で育てていたものとは随分異なりました。憧れだった野菜作りはすごい草と虫に悩まされ、冬は凍える寒さ、夏は蚊、虻、蝸、たくさんムシにびっくりです。でも、今年の六月で帰ってから二年になります。毎日の生活を、あたたかい人の情に支えられ、今、野菜作り一年生で頑張っています。今日はじゃが芋を植える準備をしました。

そして、もう一つの生活のスタンスとして、パッチワークの講師をしています。三十代の頃から独学で楽しんで来たのですが、五十代後半に講師と指導員の資格を取得しました。私のレッスンには基本を大切に、きれいな作品作りをモットーにしています。一人でも多くの方と、楽しいと思つて頂ける時間を共有出来たらと願っています。

忘れることの出来なかつた故郷に帰り、これからの時間を元気に楽しく過ごしたいと思っています。どうぞ、よろしくお願い致します。



▼「暑さ寒さも彼岸まで」

「春に三日の晴れなし」と言われますが、天候不順が続いています。新年度がスタートし、企業、官公庁、学校それぞれ入社、入庁、入学等新たな夢や目標に向う人も多いでしょう。

▼3月議会定例会では24年度予算等、49議案を可決しました。住民の付託に応えるよう「小さくても元気で明るい輝きのあるまちづくり」に努めます。

▼今年7月は町長、議員補欠選挙の年です。選挙は政治に参加する住民の基本的な権利です。清き一票を投ずるは大きな役割です。

日野尾 優

議会広報調査特別委員会

- 委員長 川上 富夫
- 副委員長 森田 智
- 委員 川端 雄勇
- 委員 田中 幹啓
- 委員 日野尾 優